

千歳市には、陸上自衛隊東千歳駐屯地・北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地に各部隊が所在しており、市内に居住する自衛官とその家族等は、人口の25%を占め、町内会活動を始め、スポーツ・文化団体での活動を通して市民生活と大きな関わりあいを持っています。

北部方面隊に属する陸上自衛隊の第7師団は、我が国における陸上自衛隊唯一の機甲師団です。東千歳駐屯地に師団司令部と各部隊を置き、石狩管内南部地区と胆振管内、日高管内、空知管内の一部を警備担当区域とし、北千歳駐屯地にも部隊が駐屯しています。第1特科団は、北千歳駐屯地に団本部と主力が駐屯する陸上自衛隊唯一の特科団で、地対艦誘導弾、自走榴弾砲などを有する野戦砲部隊です。また、第1高射特科団は、東千歳駐屯地に団本部を置く陸上自衛隊最大の高射特科団で、地対空誘導弾を装備し、航空自衛隊と連携して北海道の防空を担っています。

航空自衛隊千歳基地には、北海道の第一線航空基地として、北部航空方面隊に属する第2航空団が展開しています。第2航空団は、戦闘航空団として、北日本全空域の領空侵犯に対処するほか、陸上・海上自衛隊の作戦行動に対する支援にあたっています。また、航空自衛隊千歳基地には、地対空誘導弾などを装備し重要区域を防空する高射部隊のほか、飛行場機能を維持する施設部隊、捜索や救助活動に当たる救難部隊、政府専用機を運用する特別航空輸送隊などが配備されています。

各部隊は、国防の任務にあっているほか、国際平和協力活動や国際緊急援助活動などに参加し、国際社会の平和と安定に貢献するとともに、大規模災害が発生した際には、人命救助、生活支援などの災害派遣活動を行っています。また、各種イベントの開催や支援を通して、地域社会との密接な関係を築いています。

さらに、自己完結組織の特性を生かし、防災会議や総合防災訓練などにも積極的に参加するなど力強い存在となっています。

自衛隊組織の見直し等により人員が減少した場合、北方の守りや災

害発生時の対応に不安が生じるほか、地域経済やまちづくりにも深刻な影響を及ぼします。このことから、千歳市では、自衛隊の現体制の維持、強化に努め、自衛隊が有する機能と人材などを生かした共存共栄のまちづくりを進めています。

232 陸上自衛隊

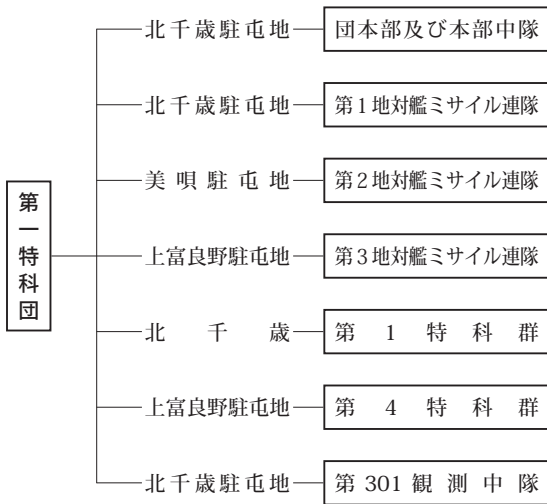
(1) 第7師団編成組織



1 部隊名の後の地名は警備隊区担当市町村を表す
陸上自衛隊第7師団

(2) 第1特科団編成組織

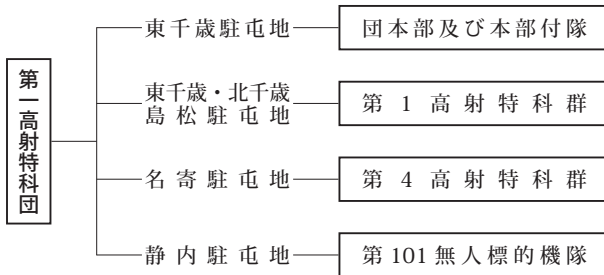
主要装備 203ミリ自走榴弾砲 88式地対艦誘導弾システム
多連装ロケットシステム 対砲レーダ装置等



陸上自衛隊第1特科団

(3) 第1高射特科団編成組織

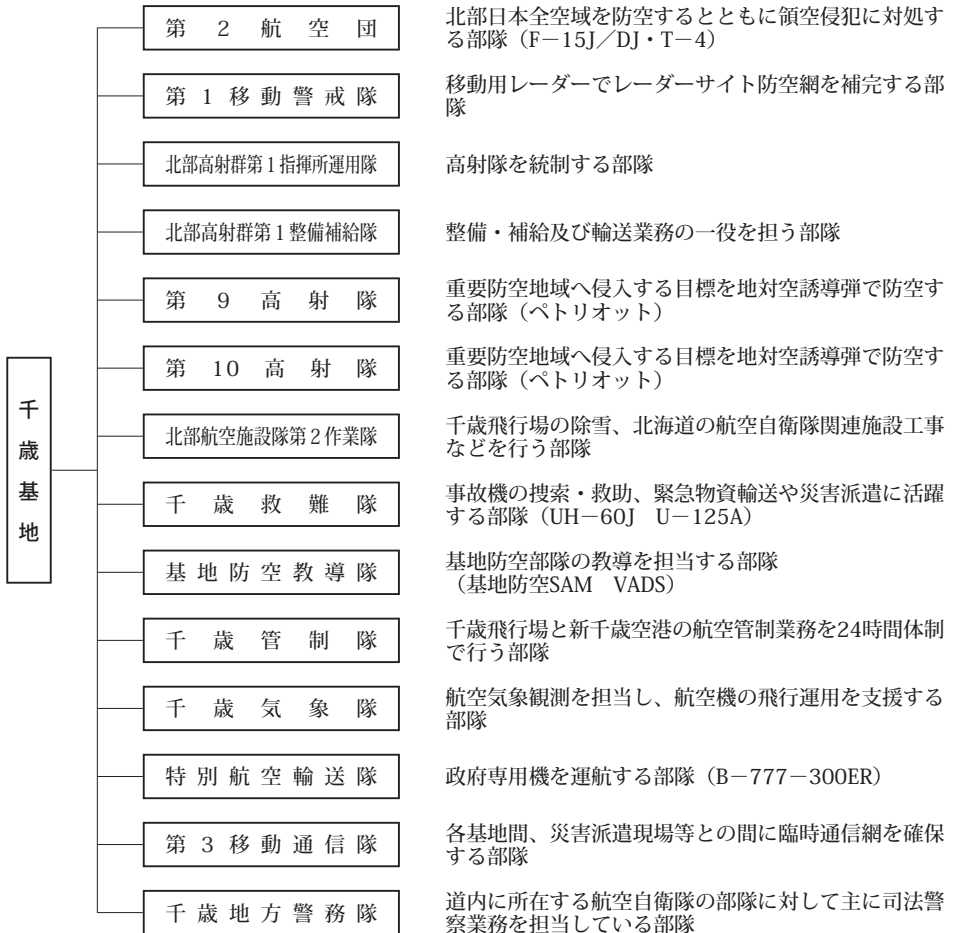
主要装備 対空戦闘指揮統制システム(ADCCS) I型 対空レーダ装置(P-25)
改良ホーク(改善Ⅲ型) 対空射撃用目標システム



陸上自衛隊第1高射特科団

233 航空自衛隊

(1) 千歳基地所在部隊編成組織

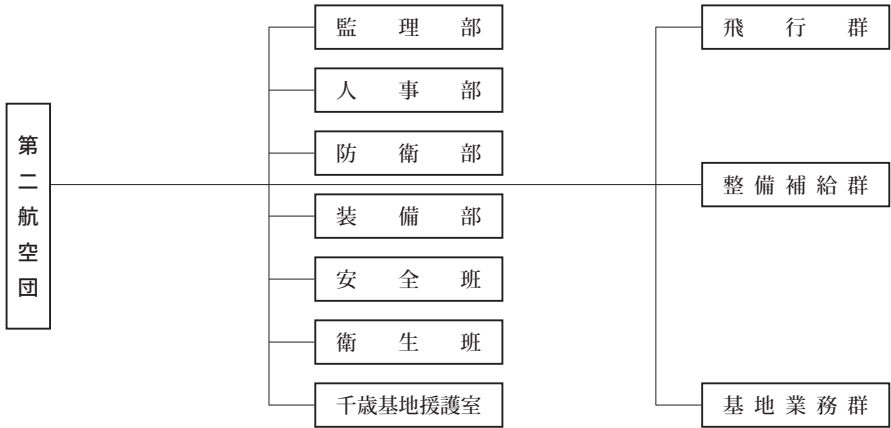


1 () は主要装備
航空自衛隊千歳基地



(2) 第2航空団編成組織

配備航空機 F-15J/DJ戦闘機 T-4練習機



航空自衛隊千歳基地



(3) 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,060万㎡

滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)

西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表63に再掲

航空自衛隊千歳基地